

平成14年度 国家種 経済職 記述試験

次の問いに答えよ。ただし、(1)は答案用紙の表側に、(2)は答案用紙の裏側にそれぞれ解答せよ。

(1) 独占あるいは寡占市場では、種々の問題が発生することが考えられるが、資源配分の効率性の観点から、次の、の問いに答えよ。(ただし、解答では単に結論を述べるだけではなく、図、数式などを用いてその理由を明示的に説明すること。)

ある商品が1企業によって供給される独占市場で発生する資源配分の非効率性を、消費者余剰及び生産者余剰の概念を用いて論ぜよ。

「1企業による独占より、市場に複数存在する状況、例えば2つの企業が存在する複線のほうが望ましい」という推論がある。この推論が正しい場合、正しくない場合のそれぞれについて、例を示し、その理由を論ぜよ。

(2) 次の、の問いに答えよ。なお、必要に応じて効用関数 $u(c)$ 、流動性保有の効用関数 $v(m)$ を使うこと。ここで、 c は実質消費量を、 m は実質流動量を示している。また、物価変化率は であるとする。

流動性選好に基づく貨幣需要関数の経済的意味に関して、次の問いに答えよ。

) 利子収入がないにもかかわらず貨幣を所有する理由として流動性選好を考える時、利子収入を利子収入を破棄するかわりに得られるものを流動性プレミアムとする。このような流動性プレミアムの経済的意味を説明し、その値を $u(c)$ 、 $v(m)$ を使って表せ。

) 流動性需要を決定する利子率とは名目利子率 R と実質利子率 r のいずれであるとえられるか。また、その理由は何か。さらに()の議論をもとにして流動性需要関数を求めよ。

) 「流動性のわな」とはどのような現象であるか。また、()で求めた流動性需要関数をもとにすると、「流動性のわな」はどのような条件のもとで発生するか。

時間選好率の経済的意味を説明せよ。これは、実質利子率と名目利子率のいずれであるか。また家計の貯蓄消費行動を説明し、その中で時間選好率()と流動性プレミアムの関係を明らかにせよ。

平成13年度 国家種 経済職 記述試験

次の問いに答えよ。ただし、(1)は答案用紙の表側に、(2)は答案用紙の裏側にそれぞれ解答せよ。

(1) 情報が不完全な市場では種々の問題が発生することが考えられるが、市場メカニズムと情報との関係を考慮しつつ、以下の設問に答えよ。

商品の品質は売り手は知っているが、買い手は完全に知ることができないという状況を考える。このような市場ではいかなる現象が発生するか、説明せよ。

保険市場における情報の不完全性はどのような問題を引き起こすか、また、現実の経済では発生する問題に対処するためにいかなる方策が採られるか、説明せよ。

労働者の能力を示す情報として学歴が採用される時、労働市場ではどのような均衡が実現されるか説明せよ。また、学歴が採用されることの是非について論ぜよ。

(2) 「物価の下落」というとき、それが意味する事項として三つが考えられる。

すなわち、いくつかの個別製品の価格が下落することを、全体として物価水準が以前よりも低くなること、物価水準の低下速度であるデフレ率が上昇することである。このことを念頭に、図、数式などを用いて以下の設問に答えよ。

この三つの「物価の下落」について、それぞれが消費に及ぼす効果を説明せよ。

消費を刺激する手段として、「物価や賃金の調整を促進し、それらの水準をできる限り速やかに低下させたほうがよい」という考え方と、「低下を抑制してデフレ率を抑えたり、金融緩和によってインフレを起こさせたほうがよい」という考え方がある。このこたえを応用して、長期不況の下で消費が停滞しているときにはどちらの考え方がよいか、理由を付して述べよ。